

美瑛町

清水 智仁

1. 美瑛町の概要と歴史

美瑛はアイヌ語の「ピエ」より転訛したもので、「油ぎった川、にごった川」という意味である。本町の開拓者が「ピエ」訛って呼んでいたものに「美しく、明朗で王者の如し」という意味の「美瑛」の漢字が当てられ、現在の「美瑛」と命名された。

美瑛町の歴史は、1900 年に上川郡神威村（現旭川市の一部）から分村、上川郡美瑛村になり、1915 年には二級町村制、1923 年には一級町村制となり、1940 年に町制が施行され、現在の美瑛町となる。

2. 美瑛町の地理・気候

美瑛町は、北海道内第二の都市「旭川市」とドラマ「北の国から」などで知られる「富良野市」とのほぼ中間に位置している。総面積は 67.716ha で、東京 23 区の広さに匹敵し、上川支庁の市町村も含め、8 つの市町村に隣接している。総面積の 67.716ha のうち、耕地面積は 12.700ha で、林野面積は 36.821ha である。

図 1 上川支庁の位置と美瑛町の位置



出典：上川支庁 HP

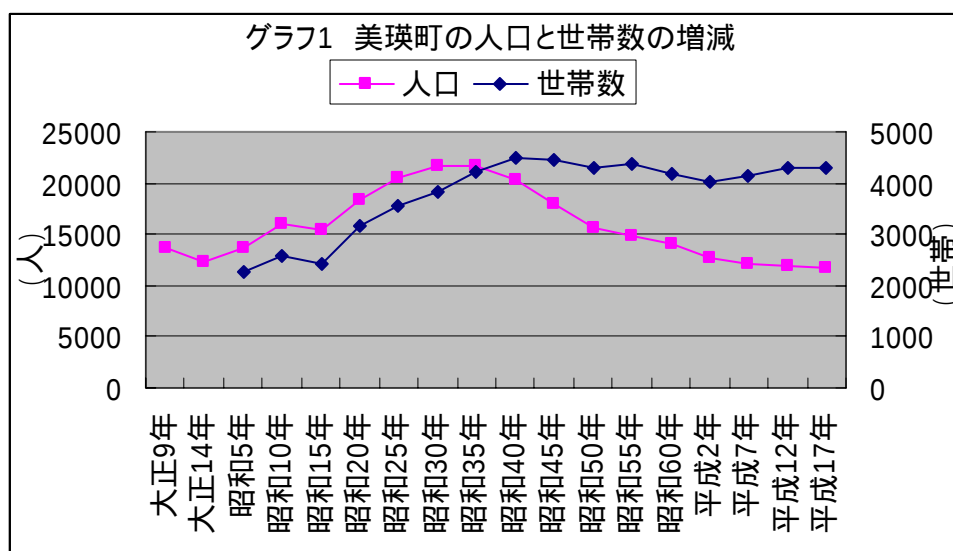
美瑛町は上川盆地と富良野盆地の間の丘陵地帯である。 周りは白雲岳（2230）、忠別岳（1963）、化雲岳（1954）、トムラウシ山（2141）、オプタテシケ山（2013）、美瑛富士（1888）、美瑛岳（2052）、十勝岳（2077）[括弧内は標高]などの山々に囲まれている。主な河川は美瑛川があり、不動の滝、白ひげの滝という滝もあって、硫黄沼が存在する。

北緯は 43°24'55"～43°39'58"に、東経は 142°19'28"～142°54'57"の間に美瑛町はある。寒暖の差が激しい内陸性の気候で、明確な春夏秋冬の美しい自然に恵まれている。

3.美瑛町の人口・産業・農業

3.1 美瑛町の人口・世帯数推移

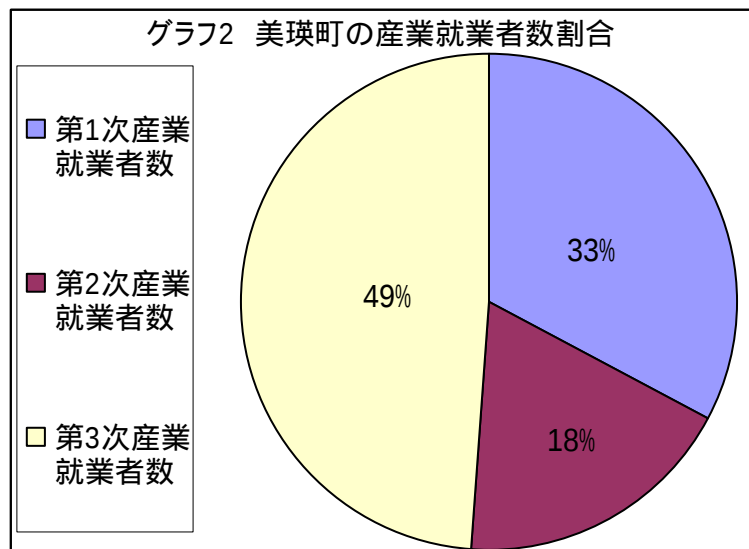
美瑛町の現在の総人口は 11626 人で、総世帯数は 4300 世帯である。グラフを見て、人口が減少しているにもかかわらず、世帯数は減少していないのは近年の日本の市町村に見られる、過疎化、核家族化、一人暮らしの増加が関係しているように見える。



出典：上川支庁 HP

3.2 美瑛町の産業・産業別人口

産業別人口は第 1 次産業の人口が 2027 人で、第 2 次産業の人口が 1130 人、第 3 次産業の人口が 3028 人である。第 3 次産業の割合も大きいですが、全国、北海道平均から比べ、第 1 次産業の比率が高く、やはり美瑛町を支えるのは第 1 次産業の農業であり、美瑛町は基幹農業の町だといえる。

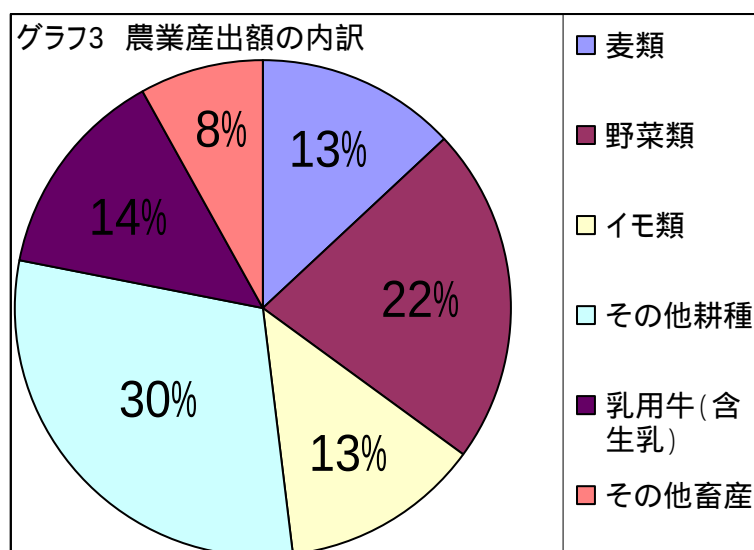


出典：わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 - HP

3.3 美瑛町の農業人口

農家数 674 世帯のうち、自給的農家は 39 世帯、販売農家は 635 世帯である。販売農家を主副業分類で分けると、主業農家が 547 世帯で、準主業農家が 19 世帯、副業的農家が 69 世帯である。専兼業分類で分けると、専業農家が 339 世帯で、第 1 種兼業農家が 254 世帯、第 2 種兼業農家が 42 世帯である。農家人口は 2945 人で、男が 1432 人、女が 1513 人である。基幹的農業従事者数は 1594 人で、男が 862 人、女が 732 人である。基幹的農業従事者数のうち、65 歳未満は 1237 人で、男が 660 人、女が 577 人である。

3.4 美瑛町の農業



出典：わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 - HP

農業産出額の約 138.5 億円のうち、果樹、花きの産出は皆無に等しく、そのほとんどが作物、野菜、畜産である。最近ではその特産品を幅広く利用し、穀物の大部分を占める小麦と、作付面積、収穫量ともに野菜の全体の 7 割を超える馬鈴薯、その二つに重点を置いたカレーうどんを美瑛町名物にしようという動きがある。

3.5 その他の産業

美瑛町は、農業はもちろん、じゃがいも・大麦・テンサイ・トウモロコシなどを中心とした畑作と、その野菜を加工する食品製造業、そして木材加工などが盛んである。

そしてやはり産業としても観光業は見逃せない。白金温泉のほか、町内にはペンションなどの小規模な宿泊施設が点在している。

美瑛町の歳入総額が約 117 億円なのに対し、農業が産出する額は約 138.5 億円にも達する。製造品出荷額等が約 58 億円、卸売業年間販売額が約 27 億円、小売業年間販売額が約 132 億円であるから、美瑛町は農業に支えられているといえる。

4.美瑛町の観光

美瑛町の主要な産業といえば、やはり観光業である。年間 120 万人訪れるこの美瑛町は「日本で最も美しい村」連合に所属しており、町全体が観光地になっている。

美瑛町の名所

パッチワークの路

北西の丘展望公園、ケンとメリーの木、セブンスターの木、マイルドセブンの丘、ぜるぶの丘、親子の木などがあり、きれいな段々畑を見ることができる。

セブンスターの木



丘の上に一本の「かしわの木」が立っているが、昭和 51 年に観光たばこ「セブンスター」のパッケージに掲載された木。またこの地区一体が農産物の作付けにより、色とりどりに見えることから「パッチワークの路」とよんでおり、毎年作物の連作が出来ないため景色が変わって見える。

マイルドセブンの丘



昭和 52 年にマイルドセブンのパッケージに使用された丘で防風林に夕日が沈む景観が写真愛好家に評判である。

ぜるぶの丘



1998 年、国道 237 号線沿いの丘の上で、観光客への情報発信のため町の青年達が、自力で造った枕木のログハウスと花畑がある。「かぜ」「かおる」「あそぶ」の三文字をとってぜるぶと名付け、「爽やかな風薫る丘でみんなで楽しく遊ぶ」がテーマ。ラベンダー・ポピー・ひまわり等が咲き、バギーカーの体験もできる。

パノラマロード

美馬牛小学校、新栄の丘展望公園、三愛の丘展望公園、拓真館、水沢ダム、ふれあい牧場、四季彩の丘、榎本孝明水彩画館などがある。

美馬牛小学校



塔のある小学校として北海道・夏・冬 50 選に選ばれた小学校。休み時間には「野バラ」のメロディーが奏でられる。また、写真家前田真三氏の写真のポイントにもなった。

新栄の丘展望公園



市街地から拓真館までの中間地点に位置し、丘めぐりにレンタサイクルや徒歩で散策できる展望公園。ここで見る夕焼けは「日本一」と評判である。

リフレッシュロード

白樺街道、聖台ダム、白ひげの滝、白金不動の滝、白金模範牧場、白金いこいの森林、国設白金野鳥の森、十勝岳展望台、十勝岳火山砂防情報センターなどがある。

白樺街道



「北海道自然 100 選」にも選ばれた白樺街道は、大正 15 年の十勝岳噴火泥流跡に自生した白樺が白金温泉までの約 4 km にわたって続き、日本一の景観規模を誇る。白樺街道に平行して 3km にわたる遊歩道は森林浴やバードウォッチングに最適である。

聖台ダム



農業用ダムで、桜の名所でもあり景観優美。沢の村（体験の村）の始まりである。

国設白金野鳥の森



標高 700m の高原原生林 100ha の中に数多くの野鳥の生息が確認され昭和 48 年に環境庁が野鳥の生態を見学できるように観察舎などの施設がつくられた。くまげら、あかげら、かっこうなど数十種類の鳥のさえずりが聞こえる森で、バードウォッチングも盛んである。

美瑛町中心部

四季の塔、四季の情報館、JR 美瑛駅、郷土資料館、本通商店街などがある。

四季の情報館



落ち着いた雰囲気の中には美瑛町の四季を 180 インチ 3D 立体映像で楽しめるハイビジョンがあり、その他に自分で検索して情報を知ることができる観光もの知りガイドやイベントスポット情報等がある。前田真三先生のミニギャラリーをはじめ、美瑛町の特産・物産を紹介、観光案内所を併設しており情報の発信基地になっている。

JR 美瑛駅



美瑛町の石山の美瑛軟石で建築した駅舎。1987 年に JR に変わってから改装し、観光客に「石造りの駅」として人気が高まり、北海道の駅の中でも 1・2 の人気である。

写真出典：美瑛町観光協会「丘のまちびえい」HP

参考 HP

美瑛町観光協会「丘のまちびえい」

http://www.eolas.co.jp/hokkaido/sikibiei/index.htm#_top

わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 -

<http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html>

美瑛町 - Wikipedia -

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%BE%8E%E7%91%9B%E7%94%BA>

上川支庁 HP

<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/index>